



環境省

# ネイチャーポジティブの実現にむけて ～自然共生サイトの取組～

令和8年3月18日

環境省自然環境局 自然環境計画課  
地域ネイチャーポジティブ推進室  
木滑 黄平



## 地域ネイチャーポジティブ推進室 －ネイチャーポジティブな地域づくり－

### 30by30の達成に向けて

- 自然共生サイト+インセンティブ
- 30by30ロードマップ
- 自然再生

### 生物多様性の地域目標づくり

- 生物多様性地域戦略

### 地域の大切な場所を示す

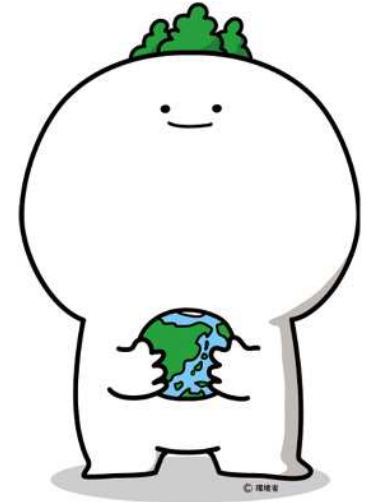
- 重要湿地/里地里山
- 生物多様性の見える化マップ

### 地域の取組の支援

- 生物多様性の交付金
- 生物多様性保全推進支援事業



- ◆ 生物多様性を取り巻く状況と世界&日本の動向
- ◆ 自然共生サイト～地域の自然を守って活かす～
- ◆ 見える化システム～生物多様性情報を見る！～

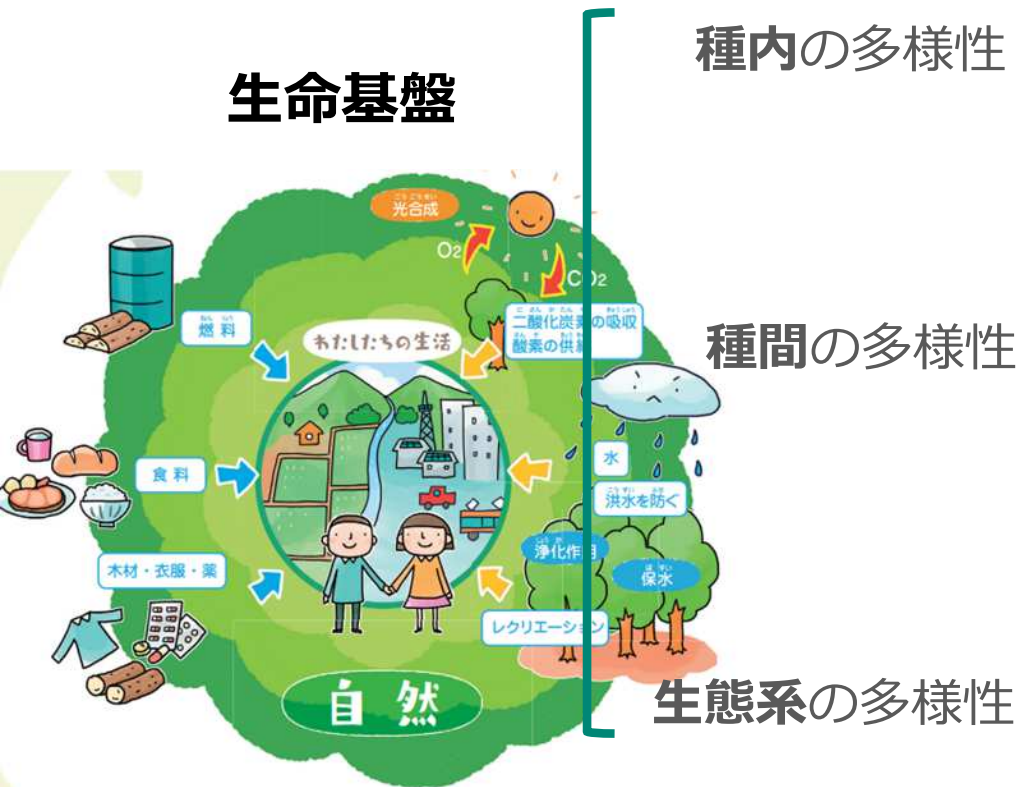


# 生物多様性とは生命基盤

生物多様性とはすべての生物の間の変異性をいうものとし、種内の多様性、種間の多様性及び生態系の多様性を含む。

【生物多様性条約（1992年採択、1993年発効）第2条】

## 生命基盤



サクラソウ  
(環境省)

(例) サクラソウ  
遺伝的に複数の  
地域集団が存在

(例) アサリの貝殻  
貝殻の色や模様  
は千差万別



アオウミガメ  
(環境省)



レンゲショウマ  
(奥多摩自然保護官事務所)



イリオモテヤマネコ  
(環境省)



サンゴ礁  
(崎山・石垣自然保護官事務所)



湿原  
(釧路湿原・釧路自然環境事務所)



森林  
(沖縄島北部・環境省)

# 生物多様性と経済

## ■ 気候変動に次ぐ深刻な危機という認識

深刻度から見たグローバルリスク トップ10  
(今後10年)



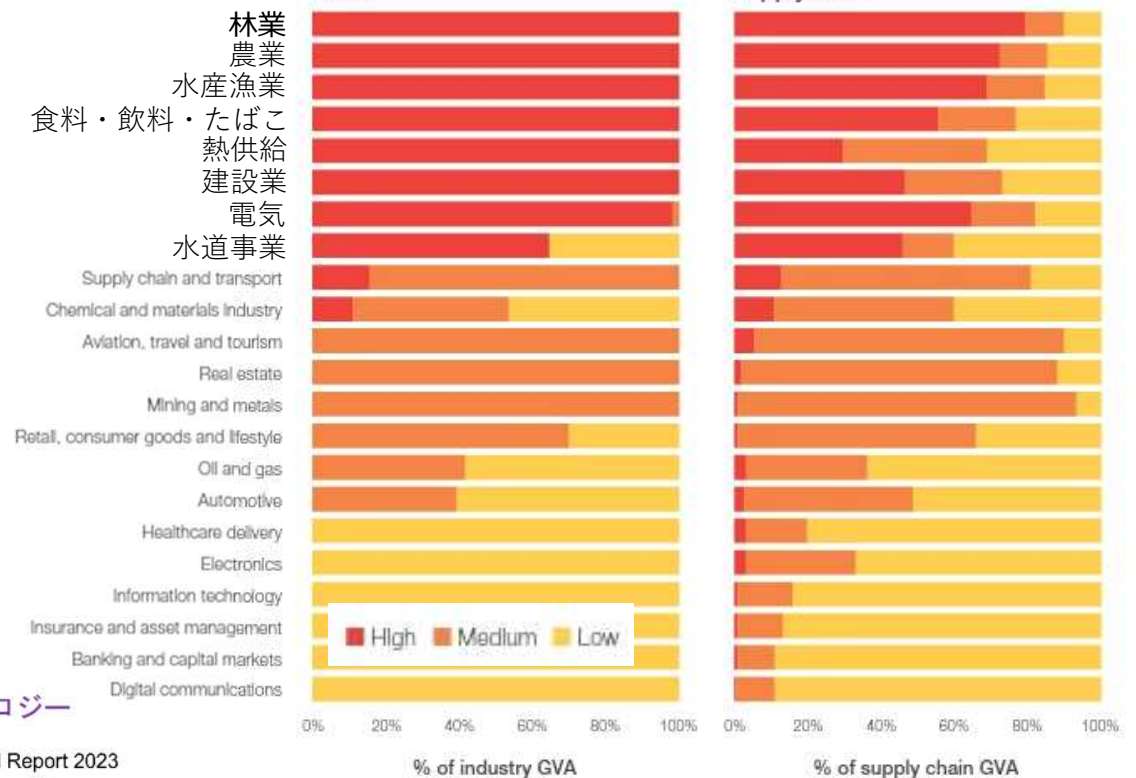
出典：World Economic Forum Global Report 2023

※世界経済フォーラム（年次総会は「ダボス会議」として知られている）におけるアンケート結果。

## ■ 自然破壊により44兆米ドル（世界GDPの半分）が影響との予測

出典：WEF the New Nature Economy Report (2020)

産業ごとの粗付加価値額の自然への依存度



出典：World Economic Forum: Nature Risk Rising (2020)

我々の経済は自然の外部にあるのではなく、**自然の内部に組み込まれている**  
という基本的な真実を理解し、受け入れることが解決に向けた第一歩

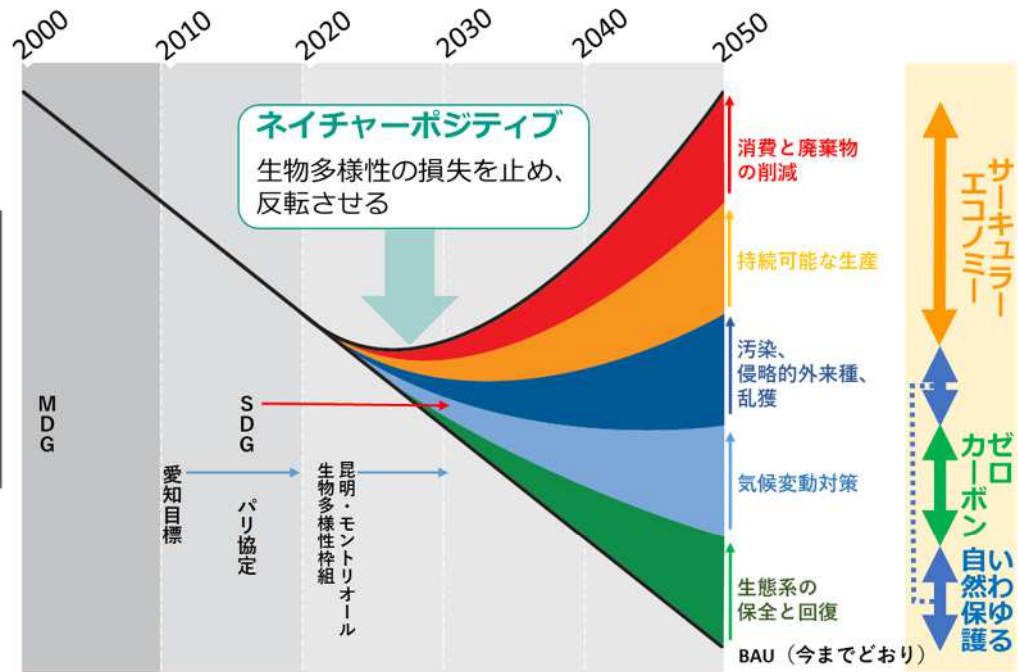
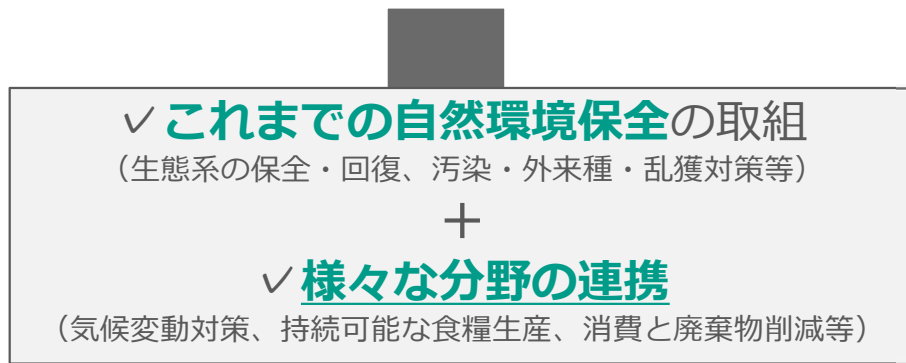
出典：ダスグプタレビュー (2021)

# 社会変革の必要性

## 地球の持続可能性の実現に向けては、 横断的な「**社会変革 (transformative change)**」が必要

出典：IPBES 地球規模評価報告書 (2019)

- 「今までどおり」のシナリオでは、  
生物多様性は損失し続ける

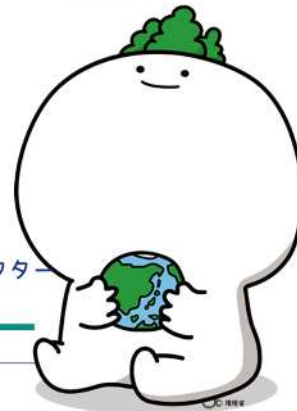


- 2030年以降には**生物多様性の純増加**  
につながる可能性がある

生物多様性の損失を減らし、回復させる行動の内訳  
出典「地球規模生物多様性概況第5版 (GBOS)」を基に作成

= **ネイチャーポジティブ**  
生物多様性の損失を止め、反転させる

「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター  
**だいだらポジー**  
DAIDARAPOSIE



# 生物多様性を取り巻く世界的な動向

- 2020年を目標年とした愛知目標は、20の個別目標で完全に達成できたものはない結果に。
- 2022年12月のCOP15にて**2030年までの新たな目標**を定めた**昆明・モンリオール生物多様性枠組（GBF）**が採択。
- 我が国は2023年3月に生物多様性国家戦略を改定した。

2010 生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）を愛知県名古屋市で開催  
➤ 愛知目標（戦略計画2011-2020）採択  
➤ 名古屋議定書採択

2012 生物多様性国家戦略2012-2020を閣議決定

2021～  
2022 COP15（議長国：中国）  
→ **昆明・モンリオール生物多様性枠組（GBF）の採択**

2023 **生物多様性国家戦略2023-2030を閣議決定**

2026 生物多様性国家戦略中間評価 公表



■  
国連生物多様性の10年

↓  
各国におけるGBFに即した国家戦略づくり

# 30by30目標

サーティー バイ サーティー  
**30 by 30**

2030年までに**陸と海の30%以上を保全する**  
**新たな世界目標**



## 30by30目標達成の様々な効果

- ・ **気候変動**：緩和、適応に貢献
- ・ **災害に強く恵み豊かな自然**：国土の安全保障の基盤
- ・ **花粉媒介者**：国内で年3,300億円の実り
- ・ **森林からの栄養塩等**：河川を通して海の生産性を向上
- ・ **観光や交流人口の増加などの地域づくり** など

# 30by30目標

サーティー バイ サーティー  
**30 by 30**

2030年までに陸と海の**30%以上**を保全する  
新たな世界目標



今の日本は…

陸域の21.0%、海域の13.3%をカバー

(2025年8月4日環境省報道資料)



## 30by30目標を達成するための主要施策5つ

①保護地域の拡張、管理の質の向上

②OECMの設定・管理

③生物多様性の重要性や保全活動効果の「見える化」

④生態系が繋がりが合い、健全に機能するための質を高める取組

⑤脱炭素、循環経済、有機農業、都市における緑地等の取組との連携

Other Effective area-based Conservation Measures  
→保護地域以外で、**生物多様性保全に資する地域**のこと



日本では、**民間の取組等**によって生物多様性の保全が  
図られている区域を**自然共生サイト**として認定





---

## 自然共生サイトの取組 ～地域の自然を守って活かす～

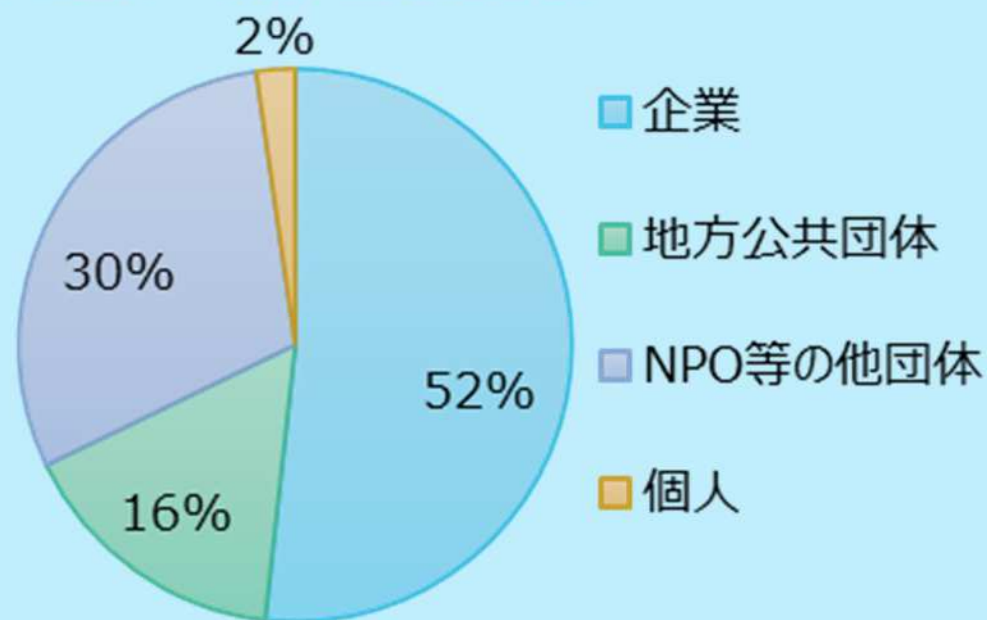
---



# 自然共生サイトの取組

- 2023年 自然共生サイト**の認定を開始  
 →2025年3月末には**328か所**が自然共生サイト
- 2025年**4月1日、「**地域生物多様性増進法**」施行  
 →2026年3月には**569か所**が自然共生サイト
- 申請者は**企業が半数**。地方公共団体やNPO等いろいろな団体から申請

<申請主体の内訳 (第2回含む)>



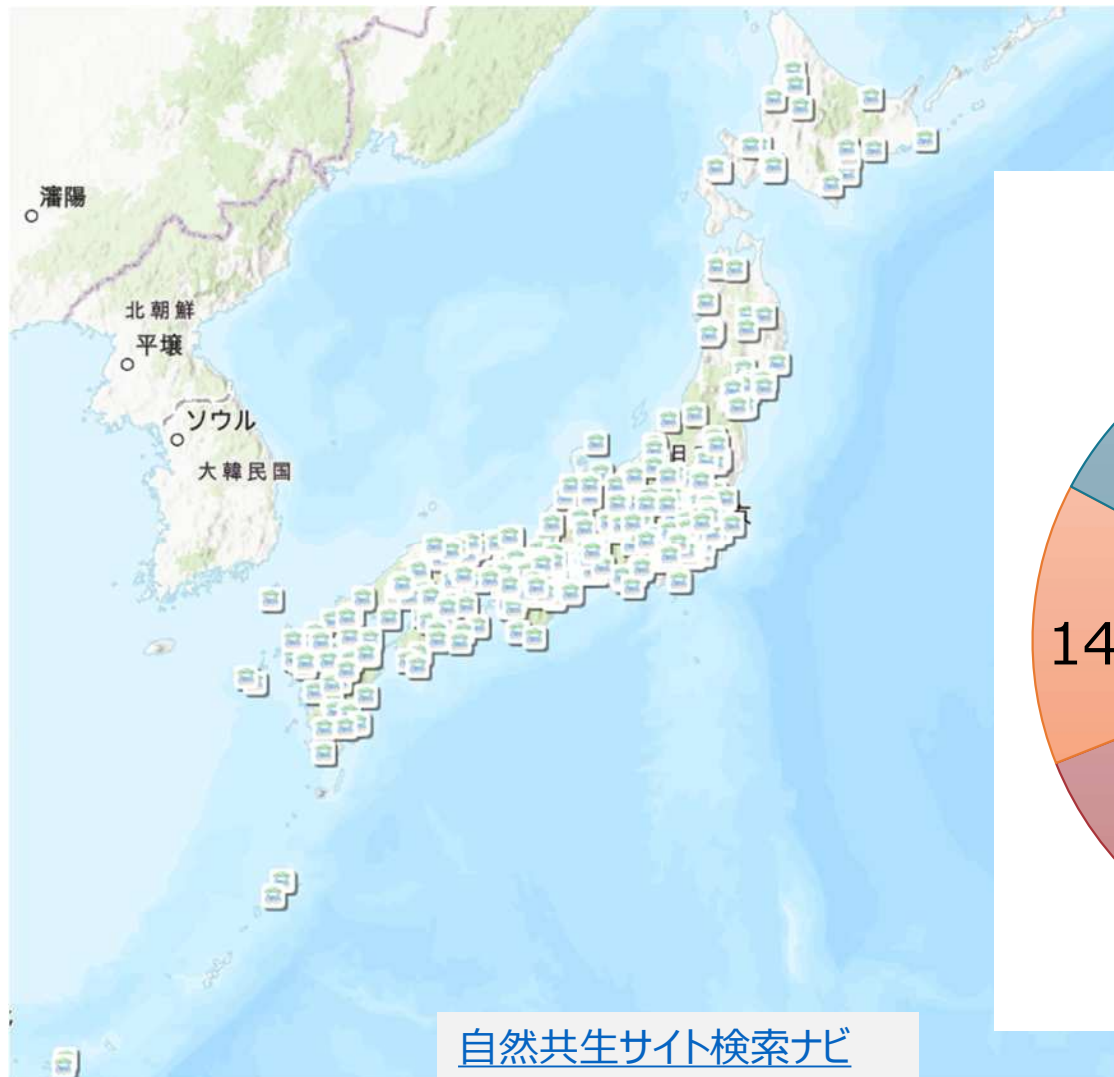
<令和7年度第1回認定式の様子>



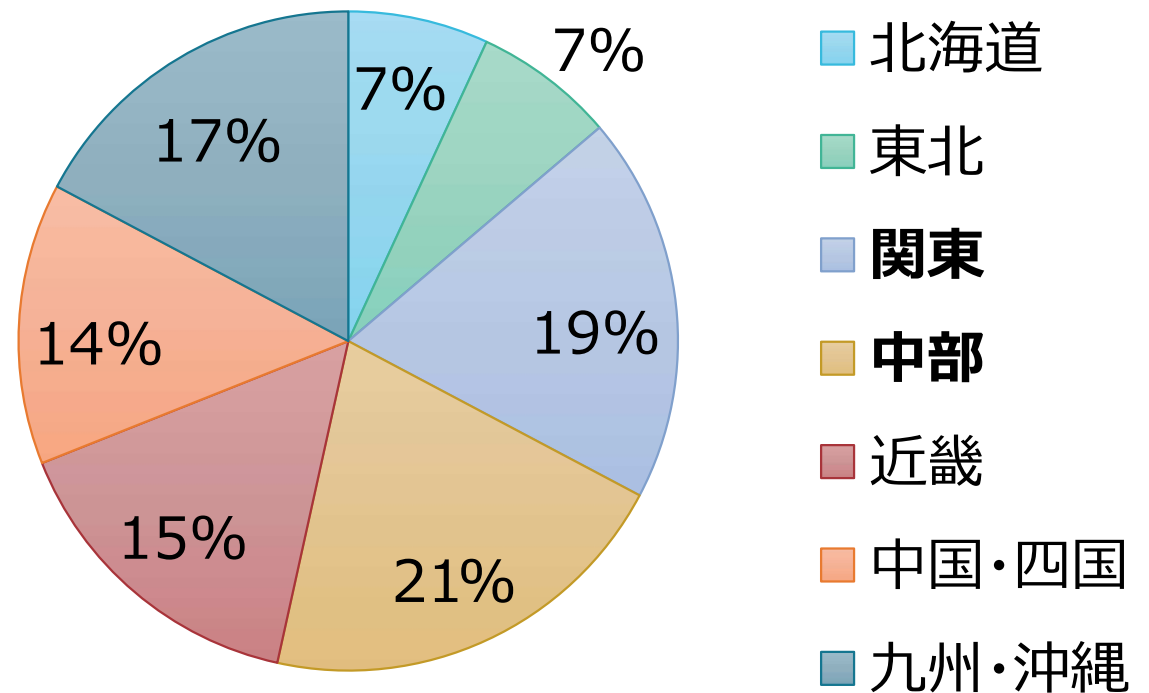
令和7年9月30日、東京

# 自然共生サイトの分布

- 合計569か所、11.6万ha 📍 横浜市約2.5個分
- サイト所在地は、関東・中部の割合が高い傾向。



## 地域別



# 自然共生サイトの多様性について

- 森林や湿地等の自然度の高い区域に加え、里山、河川、農地、干潟、里海、社有林、企業緑地、ビオトープ等多様な環境が認定



内子町小田深山千年の森公園（愛媛県）



コウノトリ育む祥雲寺水田とビオトープ（兵庫県）



山川の海のゆりかご（鹿児島県）



AQRIO\_アクリオ（福島県）



さいたま市桜環境センター（埼玉県）



石垣島のサンゴ産卵ファーム（沖縄県）

# 自然共生サイトの多様性について



北本自然観察公園（埼玉県）



富士フィルム 湧水の森林  
（もり）  
（神奈川県）



奥大山鏡ヶ成の湿原・草原・森林  
による同心円状生態系（鳥取県）



豊後大野市 又井区の里地里山  
（大分県）



郷ノ浦の海の森づくり『藻  
場から始まる自然共生事  
業』（長崎県）



中津干潟（舞手川河口湿  
地）（大分県）

# 「コウノトリ育む」 兵庫県豊岡市の連携事例

## サイトで連携した水田（里山） 管理による保護地域との連結事例

- 「コウノトリ育む」をキーワードに**主体の異なる3つの自然共生サイトが連携**して活動。
- **水田（里山）をはじめ**、コウノトリの生息に重要であるものの保護地域になっていなかったエリアを認定。**保護地域との空間的な連結**が生まれ、当地域の**生物多様性保全上重要なエリアが可視化**。

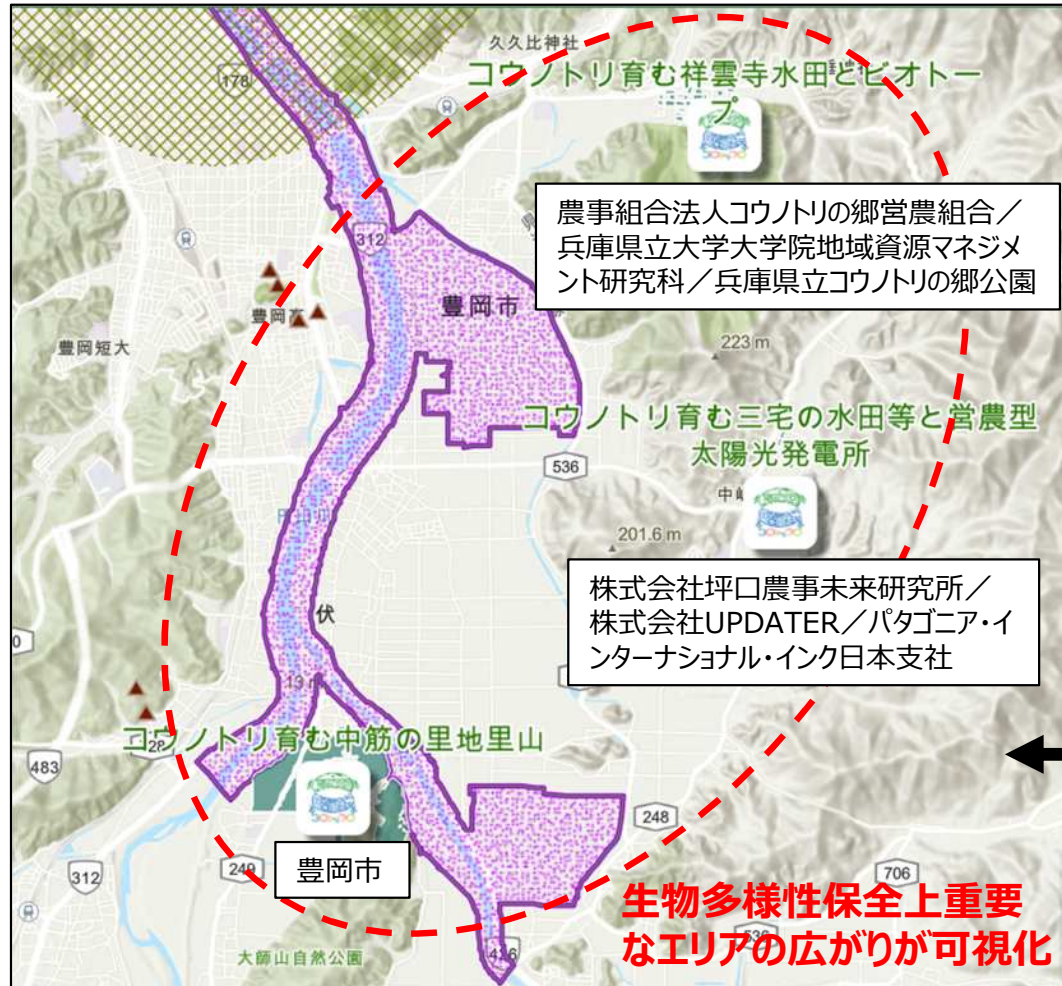


兵庫県豊岡市  
里山林、人工林、水田、畑・果樹園・牧草地、河川・湖沼

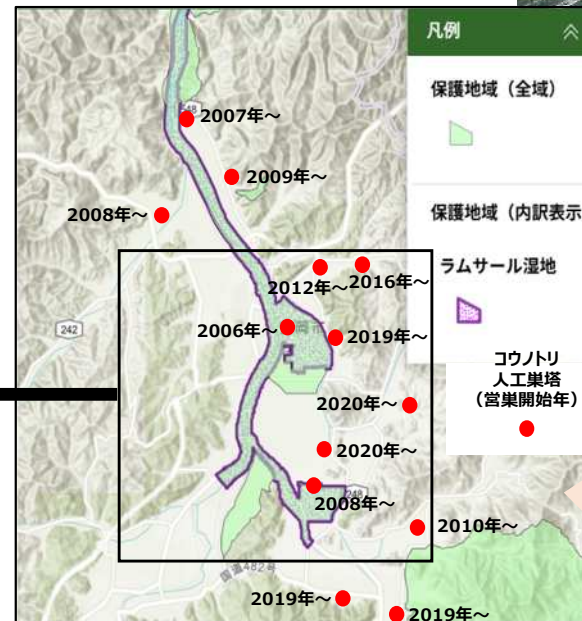


コウノトリ育む三宅の水田等と営農型太陽光発電所

コウノトリ育む祥雲寺水田とビオトープ



ラムサール湿地（保護地域）と自然共生サイトの位置関係



保護地域とコウノトリ人工巣塔の位置関係

水田はコウノトリの採餌に利用される。水田の生物多様性はコウノトリの保全にとっても重要。人工巣塔周辺は特に利用頻度が高いが、保護地域ではカバーされていない。

# 堂谷津の里（NPO法人バランス21）



## 市民参加型の里山再生と自然とのふれあいの場の創出事例

- **放棄されていた山林と農地の再生活動を市民参加型**で実施。『**五感が目覚める体験と学びの里**』とうたい、自然観察や学びのイベントも開催。
- 水田の管理では、農薬を使わず、冬の間も水を張ったまま耕さない『**冬期湛水不耕起栽培**』を取り入れ、**環境保全型農業として生物多様性保全に貢献**。
- 支援マッチングを活用し、同じ地域に本社を置く**株式会社ウェザーニューズとマッチング**。社員の継続的な活動参加による人的支援のほか、同社の気象観測技術を活用したモニタリングの支援も実現。



千葉県千葉市 10.17ha  
里山林、人工林、二次草原・草地、水田



谷津田が広がる里山の自然と文化が息づく「堂谷津の里」



自然観察会の様子

### 2024年3月自然共生サイト認定により認知向上

- 保全活動参加者数  
2023年度 延べ790人  
⇒2024年度 延べ900人
- 体験イベント参加・視察者数  
2023年度 延べ450人  
⇒2024年度 延べ940人

活動に共感した企業による支援を受けて、更なる活動の充実にもつながっている



昔ながらの手作業の米づくりにより育まれる生物多様性  
(左 サシバ / 右 ニホンアカガエルの卵塊)

渇水緩和策検討のための気象IoTセンサー



発行済み支援証明書（株式会社ウェザーニューズ）

# 自然共生サイトに認定されるとどうなるの？

## ◆ 30by30目標達成に貢献する

- 自然共生サイトの区域のうち保護地域との重複を除いた面積を国際OECMデータベースに登録。
- 行為規制を伴わず、生物多様性の価値がある場を公的に評価。



出典：Protected Planet

## ◆ 活動に対する支援を受けやすくなる

- 国による認定を受けることで、民間企業等からの支援を呼び込みやすくなる。
- 環境省で支援マッチング、企業へのインセンティブとなる支援証明書の発行も可能。
- 生物多様性保全推進支援事業（交付金）や各種モデル事業等公的支援も。

生物多様性地域戦略等の自治体の計画とも整合するとさらに効果大！



出典：兵庫県ウェブサイト

## ◆ 社会的な発信ができる（主に企業）

- 企業経営においても、自然資本への依存やリスクを評価し、生物多様性保全に積極的に取り組むことが求められている（TNFD開示等）。



TNFD情報開示  
提言やガイダンスに沿って  
TNFDレポートの作成

## ◆ 広告効果、ネットワーク形成

- ロゴマークの使用等により、国の認定を受けたことをPR。
- 生物多様性保全に対する社会の関心が高まるほど、社会的評価が高まることに期待。
- 自然共生サイト間のネットワーク形成も可能。



出典：横枕農園ウェブサイト



自然共生サイト検索ナビ

# 自然共生サイトの制度的インセンティブ

## ①「支援証明書」

自らが土地を有しない場合においても、企業等が自然共生サイトの質の維持・向上のために必要な支援をした際に「支援証明書」を発行する制度。本年8月から本格運用開始。支援マッチングも同時に開始。

国が支援実績を  
証明します

## ②「有識者マッチング制度」

自然共生サイトの活動等について専門的助言を求める相談者（認定を目指す方や保全活動を行っている方）と、専門的な知識を持つ有識者を、マッチングする制度。

国が有識者を  
紹介します

## ③「生物多様性保全推進支援事業」

増進活動実施計画及び連携増進活動実施計画の作成等の取組（補助率1/2）や、管理手法の改善や生物調査等の活動内容の向上のための取組（定額150万円まで）を支援。

国が交付金で  
支援します

## ④税制措置について（相続税・贈与税の評価減）

連携増進活動実施計画の場合に結ぶことができる「生物多様性維持協定」締結し、かつ一定の要件（20年以上等）を満たした場合、当該区域に係る相続税・贈与税の評価額を20%減額する措置を設けた。

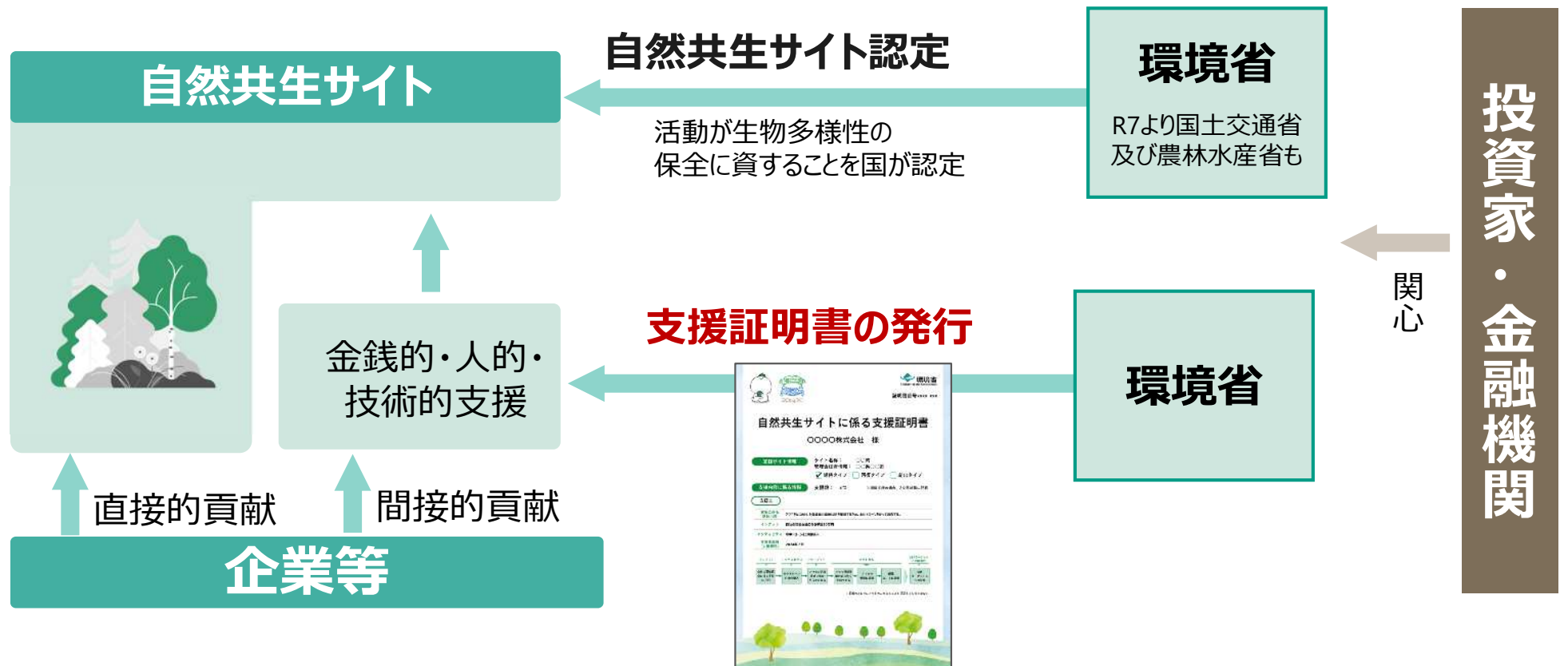
相続税などが減額されます

その他、自然共生サイト検索ナビ（見える化システム）や各種技術的手法の提示なども実施。



# ① 支援証明書制度と支援マッチングについて

- 自らが土地を有しない場合においても、企業等が自然共生サイトの質の維持・向上のために必要な支援をした際に「**支援証明書**」を発行する制度。
- **令和7年度から本格運用を開始。**
- 支援証明書の試行運用開始に合わせて、環境省30by30ホームページ上に**支援マッチング**ページを開設。

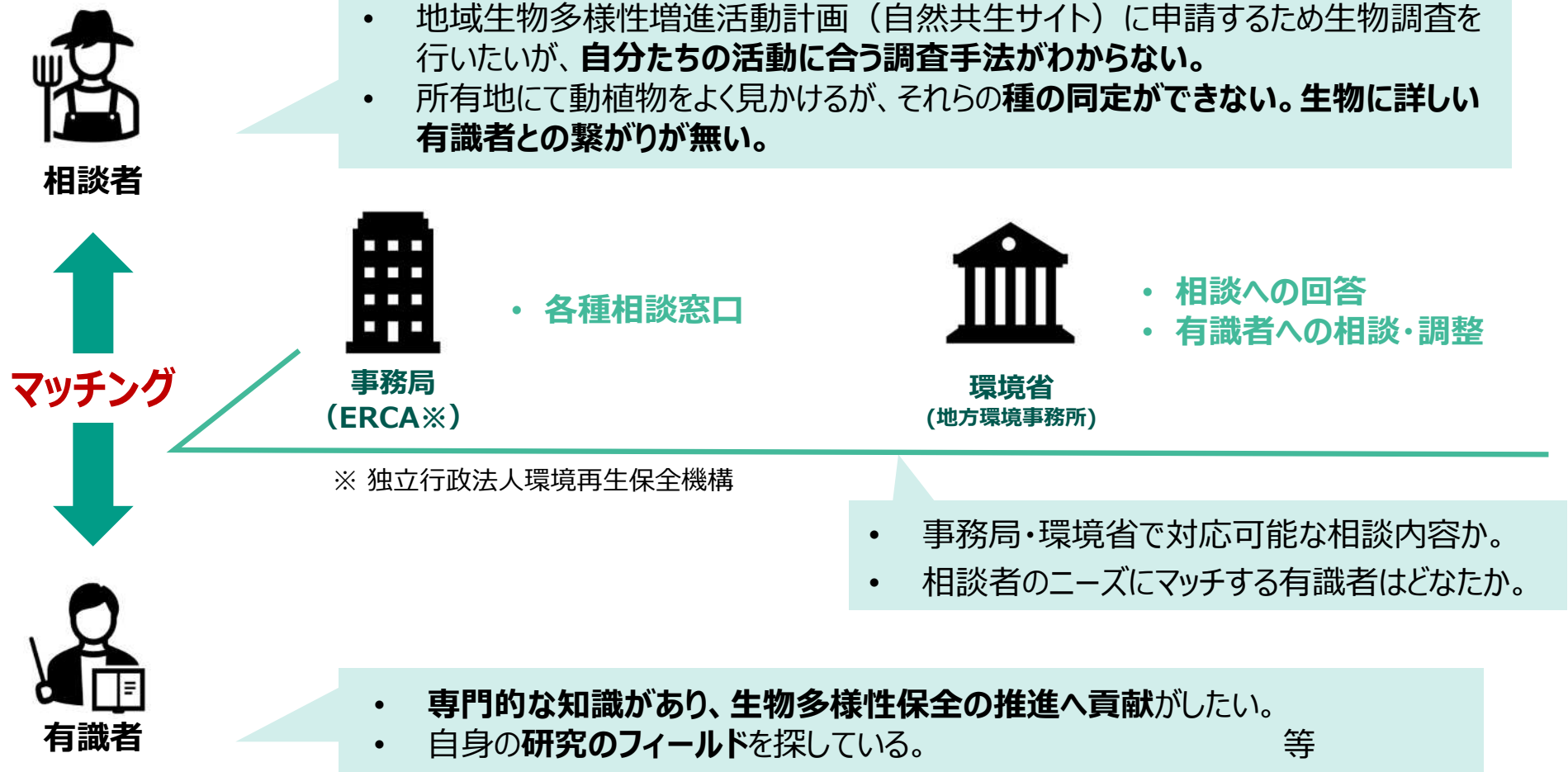




## ②有識者マッチング制度について

- 有識者マッチング制度とは、自然共生サイトの活動等について専門的助言を求める相談者（認定を目指す方や保全活動を行っている方）と、専門的な知識を持つ有識者を、マッチングする制度である。
- 相談者からの相談内容に応じて、事務局及び環境省において、適切な知見を持った有識者とのマッチングを促す。

### 有識者マッチング制度の概要



### ③ 生物多様性保全推進支援事業について

- ネイチャーポジティブ活動を促進するため、**生物多様性保全推進支援事業（交付金）**により、「**活動実施者**」や「**中間支援**」に対する支援（活動経費の補助）を実施。令和5年度より、地方公共団体が負担する額に企業版ふるさと納税を活用することが可能となった。更に、令和6年度より、自然共生サイトの保全再生を目的とする活動等への支援を可能とした。
- 令和7年度は、**地域生物多様性増進法の施行に合わせた新規メニューに改正**。

【参考】令和7年度交付対象事業イメージ（黄色：新設、赤字：変更）

対象事業	交付対象となる事業内容
生物多様性増進活動基盤整備	① <b>増進活動実施計画及び連携増進活動実施計画の作成等の取組</b> ② <b>地域生物多様性増進活動支援センターの設置又は運営に係る体制構築並びに同センターが実施する取組</b>
生物多様性増進活動実施強化	増進活動実施計画及び連携増進活動実施計画の計画区域又は自然共生サイトにおける <b>管理手法の改善や生物調査等の活動内容の向上</b> のための取組
重要生物多様性保護地域等保全再生	国立公園、国定公園、自然環境保全地域、国指定鳥獣保護区、ラムサール条約湿地、世界自然遺産、ユネスコBR、自然再生事業実施計画区域内における生息環境の保全再生
国内希少野生動植物種生息域外保全	国内希少野生動植物種を対象とした、種の保存に資する飼育・繁殖・野生復帰の取組
国内希少野生動植物種生息域内保全	国内希少野生動植物種を対象とした生息環境改善のほか、これに付随する分布状況調査・保全計画策定等の取組
里山未来拠点形成支援	重要里地里山、都道府県立自然公園、都道府県指定鳥獣保護区、 <b>自然共生サイト</b> 、 <b>生物多様性増進活動計画区域</b> 等の生物多様性保全上重要な地域における環境的課題と社会経済的課題を統合的に解決しようとする活動

## メニュー（1）生物多様性増進活動基盤整備 ①増進活動計画策定

### ■ 交付対象となる事業内容

自然共生サイト認定に必要な増進活動実施計画書の作成に活用できるメニューです。  
以下の取組を行う際に財政支援をします。

#### ・現況把握・生物調査

土地利用の状況や生物調査を行い、基礎データを収集する。

#### ・保全目標の設定・モニタリング方法、期間の検討

「維持・回復・創出」など地域の生物多様性の将来像を決める。  
必要な活動、モニタリング手法、期間等を検討する。

#### ・体制構築・有識者ヒアリング

自然共生サイトの体制構築や有識者からのアドバイスを受ける。

#### ・増進活動実施計画書の作成

自然共生サイト申請に必要な計画書を作成する。

### ■ 交付対象

地方公共団体、**民間企業、協議会等**

### ■ 交付率

事業費の1/2以内（事業費の上限なし）

### ■ 事業工期

原則2年以内（最長3年）



## メニュー（２）生物多様性増進活動実施強化

### ■ 交付対象となる事業内容

自然共生サイト認定後に活用できるメニューです。

以下の活動の質を高める又は自走化に向けた取組に限定して財政支援をします。

#### ・自然共生サイトの質を高める取組

当初の保全活動をより効果的にする生物調査やヒアリングを行う。

自然共生サイト認定時の有識者からの指摘への対応する。

#### ・新たな活動目標・モニタリング計画の設定

上記取組を踏まえた新たな自然共生サイトの活動目標、モニタリング計画の設定を行う。

#### ・自走化に向けたネットワーキングの構築・強化

持続可能な自然共生サイトの運営を行うための普及啓発、地域連携等を行う。

### ■ 交付対象

自然共生サイト認定者

### ■ 交付率

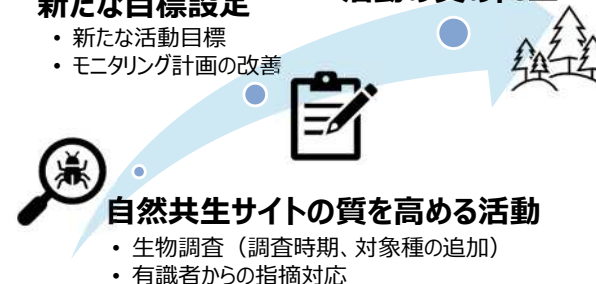
定額150万円/年まで（それ以上は自己負担）

#### <活動の質の向上>

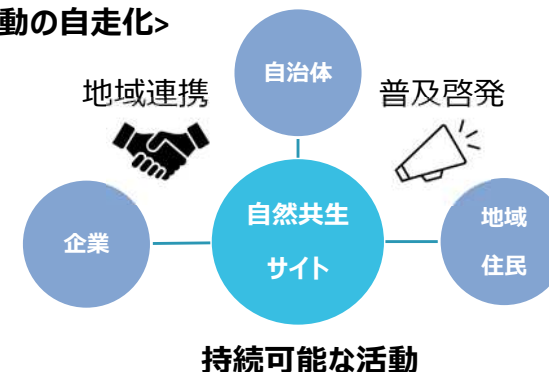
##### 新たな目標設定

- ・ 新たな活動目標
- ・ モニタリング計画の改善

##### 活動の質の向上



#### <活動の自走化>



### ■ 事業工期

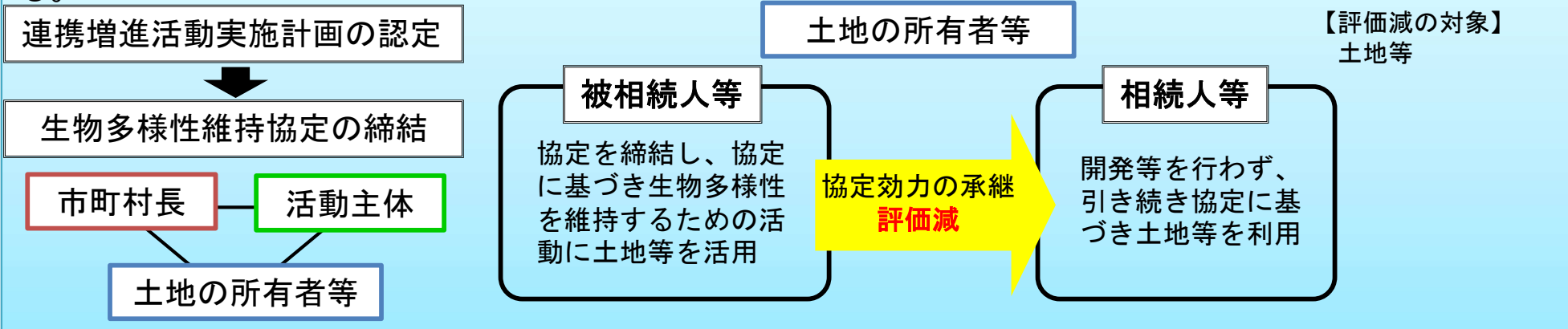
原則 2 年以内

## ④ 税制措置について（相続税・贈与税の評価減）

- 地域生物多様性増進法では、認定を受けた連携増進活動実施計画に基づき、市町村、活動実施者、土地の所有者等の3者で締結する「**生物多様性維持協定**」制度を設けた。協定の効力は、当該土地等の相続人等にも承継されるため、長期安定的な活動が可能となる。（法第26条）
- 一方で、協定を締結するとその土地等の利用について制約を受け、相続人等にもその制約が承継されるため、**当該区域に係る相続税・贈与税の評価額を20%減額する措置**を講じた。

### 税制措置

生物多様性維持協定が締結されている土地等については、相続税・贈与税に係る評価額の20%を控除する。



### 期待される効果

活動区域の土地の所有者等の相続人等の負担が軽減されることにより、相続時等における生物多様性の損失が回避され、我が国における豊かな生物多様性の確保（ネイチャーポジティブ）の実現に寄与する。

# 令和8年度認定スケジュール

- 申請書類は**通年随時受付**
- 書類が不備なく整ったものから審査

## <令和8年度認定スケジュール>

委員会開催の都合で、各認定回で処理が可能な期限を設けている

	第1回	第2回	第3回
審査対象	令和8年1月末までに書類が整ったもの	令和8年5月末までに書類が整ったもの	令和8年9月末までに書類が整ったもの
予備審査	2月	6月	10月
認定審査委員会	3～5月	7～9月	11月～令和9年1月
省庁審査			
認定	6月	10月	2月

※修正等で事務局とのやりとりが発生するため、状況によっては認定時期をずらしていただく可能性がある

## 事務局 独立行政法人環境再生保全機構（ERCA）

ERCA自然共生サイト ホームページ

<https://www.erca.go.jp/nature/index.html>

## 関東地方環境事務所

## 環境省本省

30by30アライアンスアドレス

[30by30alliance@env.go.jp](mailto:30by30alliance@env.go.jp)

困ったこと、分からないことがあったら  
相談してください！



---

# 生物多様性見える化システム

---

# 生物多様性見える化システムの機能



地域の守り・育てたい自然や、目標を見てみよう！

国際目標である「ネイチャー・ポジティブ」の実現・30by30目標の達成に向けては、地域の守り・育てたい自然を保全することが重要です。知になる地域を確認してみましょう。

\*「ネイチャー・ポジティブ」：2030年までに自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、回復させること。

\*30by30目標：2030年までに陸と海の30%以上を保全する目標



## 生物多様性情報を見る

保護地域、自然共生サイト、生物多様性保全上効果的な場所等を確認できます。

詳しく見る



## 自治体毎の保全状況・目標を見る

自治体における保全状況や、目標などを確認できます。

詳しく見る



## 生物分布・生物種リストを見る

いきものログのデータを利用し、生物分布を検索したり、地域の生物種リストを確認できます。

詳しく見る

## 生物多様性情報を見る

保護地域、自然共生サイト、生物多様性保全上重要な場所等を確認できます。

## 自治体毎の保全状況・目標を見る

自治体における保全状況や、目標などを確認できます。

## 生物分布・生物種リストを見る

「いきものログ」のデータを利用し、生物分布を検索したり、地域の生物種リストを確認できます。

## 自然共生サイト検索ナビと申請補助ツール



### 自然共生サイト検索ナビ

この検索ナビでは、「自然共生サイト」の場所や取組等が地図上で確認できます。「自然共生サイト」とは、民間等によって生物多様性の保全活動が行われている場所です。

#### 活用方法の例

- お近くのサイトを探してみる。
- 活動の支援先を探している方は、支援するサイトの候補を検討する。
- 既に活動を実施されている方は、類似の取組を持つサイトの取組を参考にする。

自然共生サイト検索ナビ

### 申請補助ツール

#### 生物多様性の価値を確認

自然共生サイトに申請する上で大きな目標となる「生物多様性の価値」を確認するための取組を確認できます。

#### 活動手法を検索

生物多様性を保全・回復する手法に関するガイドラインを検索できます。活動区域の特色や課題に合った活動手法を探してみましょう。

## 自然共生サイト検索ナビ

自然共生サイトの場所や取組が検索できます。

### 使い方の例

- 気になる自治体の自然共生サイトを探してみる。
- 生物多様性の価値、面積等を入力し、自分のサイトと似ているサイトの状況や活動内容を参考にする。
- 活動の支援先を探している方は、支援するサイトの候補を検討する。

## 生物多様性の価値を確認

その場所の生物多様性の価値情報を表示・出力し、自然共生サイト申請等に活用できます。

## 活動手法を検索

生物多様性を保全・回復する手法に関するガイドライン等を検索できます。

# 生物多様性情報を見る(生物多様性マップ)

全国の保護地域、自然共生サイト、生物多様性保全上重要な場所等が一目で分かります。



見える化マップ



ご清聴ありがとうございました

